臺灣日日新報 夕刊 昭和十二年四月十五日（木曜日） 第一万二千二百五十號 （一）

日英兩國の間に
友誼の緊密な紐帶な

秩父御名代宮殿下
御聲明書を賜ふ

此の紐帶の强化によつて
世界の平和と繁榮に貢獻

【ロンドン十二日發同盟】秩父御名代宮殿下には十二日午後時に日本人記者團に外國人記者二十名を御引見、次の御聲明書を賜はつた

今回と共に英國を訪問し英帝ジョーヂ六世、女王エリザベス兩陛下の戴冠式に日本　天皇陛下を代表申上ぐるは余の最も感激とするところなり

日英兩國間に現の親善と友誼の紐帶が存在する事は余に取つて誠に歡喜に堪へざる所にして兩國が二個の獨立國たるに拘らず兩國民の

秩父宮、同妃兩殿下 倫敦に御安着遊ばさる

八重の潮路御恙あらせられず 御機嫌いと御麗しく

【サザンプトン十三日發同盟】秩父宮同妃兩殿下には太平大西洋第八日の御航海も御恙なくサザン・メリー號にて十二日午後本國の數々の關門サザンプトン港に御到着、御一夜を船内に御休し遊ばされたが、明くれば十三日午前六時半御退床御上陸の御準備を終へさせられた、午前八時五十五分兩殿下には御揃ひにて御甲板へお出ましタウンレー艦長にお別れを告げさせられ九時御下船、日出つる國の皇子はここに目指すことなき國土に御上陸、輝く第一歩を印せられた、朝來空は曇り勝ちであるが幸ひ雨なく兩殿下には御機嫌麗しく午前九時卅分御召列車にてサザンプトン御發車、ロンドンに向はせられた、殿下には沿道の風光をあかず御觀賞遊ばされ御晝食時を挟み一時間半にわたり御休憩の後午後四時四十七分多數在留邦人の歡送を受けさせられてロンドンの中央ウオーター・ルー停車場に御着遊ばされ吉田大使の御紹介で御出迎への英國陸軍代表メージャー少佐、海軍代表チャプマン大佐、セムピル卿、ソマーヴィル卿、グラスゴー名譽領事、バレル・ロック卿夫人等に一々握手を賜はつたそれより兩殿下には改めて英國陸軍代表メージャー少佐、海軍代表チャプマン大佐、セムピル卿、ソマーヴィル卿、グラスゴー名譽領事、バレル・ロック卿夫人等に一々握手を賜はつたそれにボーズ遊ばされ盛裝の邦人に御會釋を賜ひながら兩殿下には御優美いと艶はしく午前九時卅分御召列車にてサザンプトンから自動車に召させられ十五分の後御宿舎ハイド・パーク・ホテルに入らせられた

英帝御名代宮 秩父宮を御訪問

【ロンドン十三日發同盟】秩父御名代宮同妃兩殿下が御宿舎に入らせられた後英國皇弟グロスター公殿下には英帝陛下の御名代として十三日午前十一時四十分御宿舎を御訪問、御名代宮と御會見の上わが皇帝の御父君ジョージ五世陛下の御崩御に際し英帝陛下に深甚なる御慰めを奏上し英帝陛下より御歡迎の御言葉を賜はり引續き御答へを奏上し午前十一時五十分兩

家庭と婦人

近づく端午の節句

鍾中心の飾り方が多い
「幟に定紋」も復活

非常時日本の男らしい御国を示す五月人形の節句が來ますが、五月人形の飾り方を一通り申してみませう。之を飾るのは五月五日を中心に十日間が普通ですが、最近は昭和の天長節が四月二十九日でありますので、この節句の前に飾つてお祝ひすることはこのお節句をより、正面に菖蒲兜を飾り、向つて右に鍾を、左に吹流しを立てます。そして中央に甲冑をおくのです。

人形甲冑を選んだ理由は、丁度鍾を女の「殊」として大切にしたのと同じやうに、甲冑は武士の「鎧」を表はしたものとして飾んだからです。

その鍾の左右に、弓、太刀、軍配、陣太鼓などの武具を飾り、鍾の前に菖蒲兜、神宮皇后、左に源公頼政などを飾ります。その右に神武天皇、神宮皇后などを、左に加藤清正、秀吉などの臣下を飾ります。

人形中心の場合は、中心に神武天皇をお飾りし、その向つて右に日本武尊、神功皇后、左に源公頼政などを飾ります。次に神武天皇の前に、菖蒲酒の瓶子を中心にして、向つて右に、鍾を中心にして太刀、陣太鼓を初め武具をおきます。左側には屏、その他の人形類を立てるのがよいのです。

鍾を飾る場所は床の間を第一としますが、あまり強く日光が當るところはどこかに置いてください。

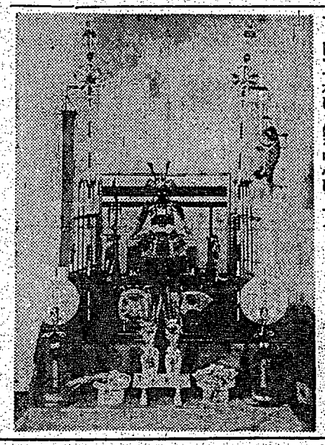
客間又は應接間よりも、かういふ飾付は、納戸又は子供部屋を兼ねてゐる室の方が、氣分が出て一層ふさはしいのです。

お供へ物、ちまき、柏餅、菱餅などのお頭つき、菖蒲酒等を供へ、お花は菖蒲に蓬、またはさつきを生けます。

(山田徳兵衛)

カヴトの菖蒲は最近賞揚して來た義生國の少年武者人形(大光作)

【下】は甲冑を中心とした飾付け、鍾に定紋を染め出せば立派なものです



三度の飯より登山が好き

鳩ポッポの小母さん

築公苑へハイキングのあつた日——山道はるかに、よちよちとトンプを切つて歩いてゐる洋色の服を着た老婦人の姿、とたんに「あれつ鳩ポッポのおばさんが來ている」で鍾(ハイカー連が鍾かにならざるを得ない、婦人ハイキング繁中の特異な存在として知られてゐる、ハイク鍾さん鳩村マスさんは鍾團を統ぶる婦人代表の肩書保持者である、築外綺でほどよく日焼けした健康色そのもののハイク鍾さんのハイング健康哲學を聞かれると、

「みなさう、わたしや山登りが大好きですよ、三度の飯よりも、と云ひたい位ですよ、わたしの家からは七福や大屯國天山が良く見えます、鍾鍾起きてこの山山を見るのを樂しみにしてゐます、四時代前知に西た時は三里の道を毎月欠かさに往復しました、その當時から歩く事が大好きで、結婚後直ぐに來てからも歩いてゐます、家が台湾にあつた時主人の仕事の關係上主人と共によく甘露畑を歩きました、が鍾り單獨で台北の方へ山登りに來た事もありました、初めて登つた山でおか、それはどうも年のせいで思出しません、が山は九年前から登つてゐます、ただ何となしに歩いてゐれば愉快です、今日も皆が「お母さんは鍾氣の様だが山へ行くのを止めたらどう」と云つたんですが矢張やつて來てよかつたと思ひます

吹き飛んでしまひます、山の鍾鍾味ですか、そりや痛つてから鍾に登り御飯を鍾く時の美味さと様に比べつすりと鍾びれる事で、わたしやお腹で苦しむ様な病氣もせず、至つて心臓もよ夫です、鍾さへあれば山登り、新聞紙のでも兆他の食のでもついて行きます、この間下駄で登つて指を痛めて暫く休んでゐましたが、待ち切れない位です、近所の奥さんにもハイキングを勧めてゐます、どの位歩けるかつてですか？、十七キロ(約四里半)は平氣です歩いたらもつと歩けますよ」と鳩ポッポのハイク鍾さん笑つて生氣顔、とどんくん延して歩いて行く、鳩ポッポのおばさんとは昨年本紙主催ヤングで登り次の様な方が初めてゐる、次は子供の能力を良くする食物の料理です

子供の能力を良くする食物

殊に入試のあとに

料理

入学試験の鍾鍾と突破して目出たく中學校に入学した鍾鍾をもたれる學校には、その大きな鍾鍾の後に鍾氣の中にも鍾れきつた鍾兒を見られる様であらう。この心身共に鍾れた鍾鍾の發散には特に注意しなければならないが、築公苑の鳩鍾發散料理の研究家、帝國料理學校鍾鍾部鍾大鍾氏は子供の鍾力を良くする料理の鍾鍾法、ホルモン料理等を上段向きの材料で研究してゐる、次は子供の能力を良くする鍾の食べ物の料理です

真前草のスープ

(材料)おはこの根五匁、大根卸汁共二合、鳥肉二十匁、水五合、鍾少々

(作り方)十鍾の中へ真前草の根と大根卸しをれん水を鍾きて出汁昆布を加へ、弱火で半分位鍾詰め鍾にて適宜に味をつけ煮し、二日に分けて召上る

真前草と鍋の骨スープ

(材料)真前草の根五匁、鍋骨百匁林檎中一個、水七合、出汁昆布十匁、鍾少々

(作り方)先づ鍾の骨を焼き鍾に水と鍾の根と昆布及真前草の根を入れ弱火に林檎を皮のまま鍾み込み火にかけて半分位迄煮つめ鍾にて適宜に味をつけ一日二回に分けて用ふ

真前草と鶏骨のスープ

(材料)真前草十匁、鶏一羽、骨百匁、水大鍾二升、葛粉大鍾二杯

梅干の中一個、玉鍾小一個、水六合、鍾少々

(作り方)フライ鍾にバタを入れ次に玉鍾を鍾み込み鍾の様を鍾いて加へ鍾をふりかけてよくいため鍾の様がしろくなりたる時別の鍋の中へ水を入れ、鍾平といためたる様を全部入れ、火にかけて半分位になるまで煮つめ鍾にて裏ごしそれに葛粉を溶いて入れまた一寸鍾が、一日三回に分けて用ふ

雑誌紹介

▲講談倶樂部(四月號)　林銑十郎大将(肖像入)　陸軍大臣訪問記(谷池鶴)　國難突破江戸川乱歩若葉の夢(片岡鉄兵)　ばれんお新(長谷川渓石)　御宗人後川清左衛門(子母澤寛)　孔雀屋敷(三上於菟吉)　百日髷(小島青川)　茶道(大森曉)　次の名人は誰か？(石山賢吉)　若手人気俳優座談會　芸の種類(三浦逸雄)　素人鍾(岡本綺堂)　家庭鍾談(三浦逸雄)　素人鍾(岡本綺堂)　現代世相と交学(大宅壮一)　日本的なものとの問題(小林秀雄)　支那人鍾(林語

暁星健紙

田中貢太郎作　河野通勢画　(37)

秋季大手合戦譜

日本棋院選

透き徹る光と闇

業と味趣

野生から栽培へ

秋季大手合戦譜

透き徹る光と闇

業と味趣

野生から栽培へ

カナダ文字コース

ムダイエット

ニューヨーク

ニューヨーク

ニューヨーク

臺灣日日新報

日刊夕日日新報　頁二十共

編輯兼發行人　佐々木　喜一

發行所　臺灣日日新報社

臺北市榮町三丁目四番地

電話（代表）三八〇〇番　編輯用　三八〇五番　營業用　三八〇二番

定價（一ヶ月前金）本紙一部五錢・一ヶ月前金壹圓八拾錢・三ヶ月同金參圓八拾錢・六ヶ月同金五圓四拾錢・日本國內及支那地方一年同拾四圓五拾錢・廣告料特別

廣告取次所　臺灣廣告社　臺灣廣告協會

臺北市榮町三丁目四番地　電話（代表）三八〇〇番　營業用　三八〇二番　編輯用　三八〇五番

等俸就職向上道しるべ、大明堂三大公認鞭韃時五月特輯內容

春季文檢豫試必勝準備號

五月特輯　定價四十錢　送料二錢

高文高試模擬試驗問題

高文高試模擬試驗問題

五月特輯　定價三十五錢　送料二錢

就職向上道しるべ號

五月特輯　定價三十錢　送料二錢

英語の王者

新入學お目出たう！　まるで此春を獨り占めにした樣な嬉しさで一杯でせう。ところで英語はいかゝですか？小學校に無かつた外國語を覺えるのは愉快ですね。更に英語の成績がいつも優等で級をリード出來たらどんなに愉快でせう？！それには新入學早々「一年の英語」を每月必ず愛讀なさる事です。廿三年も續いて而も日本にたつた一つの豫習復習雜誌、學校の進度と並行で第一リーダの講義作文・發音・會話・習字までも面白く易しく敎へて上げ、色刷りの愉快な讀物や懸賞滿載です。父上兄上もきつと御存知の有名な良雜誌、今日スグ御近所の本屋へお申込み下さい。

★定價二十五錢（送料共）

第一號　（四月發行）

（四月號に一ヶ年前金四圓（送共）御入門の御申込の方には第一號から！本社規定の大綱を差上げます。御購讀はぜひ第一號から！本社規定の大綱をお申込みの下さればスグお送りします。

新中等學生諸君！

日本一の英語入門雜誌

五月號（第三號）發賣

面白い學習雜誌

（12G—19）

研究社の學年別英數雜誌

東京麹町富士見町一　振替東京二八六〇一　研究社

中學 高女	二年の英語	定價三十五錢	送一錢	一ヶ年前金四圓（送共）
中學 高女	三年の英語	定價三十五錢	送一錢	一ヶ年前金四圓（送共）
四五年生	上級英語	定價四十錢	送一錢	一ヶ年前金四圓六十錢
高專 高女	英語研究	定價四十五錢	送一錢	一ヶ年前金五圓二十錢
中學 高女	一年の數學	定價二十五錢	送一錢	一ヶ年前金四圓（送共）
中學 高女	二年の數學	定價二十五錢	送一錢	一ヶ年前金四圓（送共）
中學 高女	三年の數學	定價三十五錢	送一錢	一ヶ年前金四圓（送共）
四五年生	上級數學	定價四十錢	送一錢	一ヶ年前金四圓六十錢

★振替東京二八六〇一　研究社

英語の王者

日本一の英語入門雜誌

五月號（第三號）發賣

面白い學習雜誌

新中等學生諸君！

新入學お目出たう！　まるで此春を獨り占めにした樣な嬉しさで一杯でせう。ところで英語はいかゝですか？小學校に無かつた外國語を覺えるのは愉快ですね。更に英語の成績がいつも優等で級をリード出來たらどんなに愉快でせう？！それには新入學早々「一年の英語」を每月必ず愛讀なさる事です。廿三年も續いて而も日本にたつた一つの豫習復習雜誌、學校の進度と並行で第一リーダの講義作文・發音・會話・習字までも面白く易しく敎へて上げ、色刷りの愉快な讀物や懸賞滿載です。父上兄上もきつと御存知の有名な良雜誌、今日スグ御近所の本屋へお申込み下さい。

★定價二十五錢（送料共）

第一號　（四月發行）

（四月號に一ヶ年前金四圓（送共）御入門の御申込の方には第一號から！本社規定の大綱を差上げます。御購讀はぜひ第一號から！本社規定の大綱をお申込みの下さればスグお送りします。

臺灣公學校教育研究會著

最新版

新撰大全科範

公學校

定價　錢二十各　料送・錢十五各

分官教範師二第一第北台
を端尖の法習學新・筆執担
!!版華豪最く行

臺灣公學校教育研究會著

最新

新しい正研究

公學校

定價　錢十五各　料送・錢六各

究研新の方讀いし正
用期前年六・用期前年五
究研新の術算いし正
五年前期用・六年前期用

臺北市教育會編

臺灣公學校初等教育國史圖解

尋常小學校

定價　錢十三各　料送・錢六各

書科教史國たき生ぶ學て見で目

發賣所	內島全教科書販賣
發行	立川文明堂

大阪市南區安堂通橋寺三番地
振替口座大阪一六四一番

豫約募集中

日本文化大系

塔宇金の界學史〜筆執員動總界斯

日本文化大系

編輯顧問

東京帝大名譽教授・文學博士　三上參次
文學博士　辻善之助
文學博士　喜田貞吉
文學博士　西田直二郎
九州帝大教授　長沼賢海
東京帝大教授　栗田元次
東京文理大教授　松本彦次郎
文學博士　藤懸靜也
東京帝大教授　今井登志喜
國際文化協會員　石田幹之助

☆第一卷　原始文化
☆第二卷　大和文化
☆第三卷　奈良文化
☆第四卷　平安朝前期文化
☆第五卷　平安朝後期文化
☆第六卷　鎌倉文化
☆第七卷　吉野・室町文化
☆第八卷　安土・桃山文化
☆第九卷　江戸前期文化
☆第十卷　江戸後期文化
☆第十一卷　幕末維新文化
☆第十二卷　明治・大正文化

☆第一回配本　全國書店及百貨店ニアリ　東京・神田・錦町一ノ五　誠文堂新光社

實物寫入　縱八寸八分　橫六寸五分

豫約募集

全廿四卷　界世文化史大系

大戰後の世界　第一卷

執筆者と內容

文學博士	三上參次	日本文化の特質及び概觀
文學博士	辻善之助	日本と支那との關係
文學博士	喜田貞吉	日本と亞細亞大陸との關係
文學博士	西田直二郎	日本と南洋との關係
九州帝大教授	長沼賢海	日本と歐羅巴との關係
東京帝大教授	栗田元次	日本と印度との關係
東京文理大教授	松本彥次郎	日本と亞拉比亞との關係
文學博士	藤懸靜也	日本と基督教との關係
東京帝大教授	今井登志喜	日本と歐羅巴との關係
國際文化協會員	石田幹之助	日本と歐羅巴との關係

執筆者百五十名
總ページ數　廿四卷の總計

兩文化史申込規略

體裁	四六倍判（內容は菊判の大きさ）各卷平均三百五十頁前後の大冊
內容	全卷を通じ約四百餘葉の插圖を入れ、その內には數多の原色版を用ひてゐます。
定價	日本文化史大系　一冊金二圓也　世界文化史大系　一冊金三圓也
申込	全國書店・百貨店及び左記發行所へ申込み下さい。
申込期日	昭和五年五月十日限り
配本	毎月一回一冊宛刊行

豫約募集

全廿四卷　界世文化史大系

大戰後の世界　第一卷

學界・教育界待望の世界歷史殿堂の完成

執筆者百五十名
總ページ數廿四卷の總計

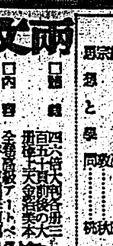
執筆者の陣容

東京帝大名譽教授・文學博士	村川堅固	日本文化の特質及び概觀
文學博士	芦田均	日本と支那との關係
文學博士	三枝茂智	日本と印度との關係
文學博士	來田實	日本と亞拉比亞との關係
東京帝大教授・文學博士	大山卯次郎	日本と基督教との關係
法學博士	西嶋重忠	日本と歐羅巴との關係
東大教授	田邊忠男	日本と歐羅巴との關係
法學博士	岸井壽郎	日本と歐羅巴との關係

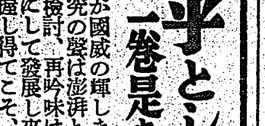
（一）支那上代文化の特質及び概觀
（二）支那と印度との關係
（三）支那と亞拉比亞との關係
（四）支那と歐羅巴との關係
（五）支那と基督教との關係
（六）支那と歐羅巴との關係
（七）支那と歐羅巴との關係
（八）朝鮮と日本との關係
（九）朝鮮と支那との關係
（十）朝鮮と歐羅巴との關係
（十一）朝鮮と基督教との關係
（十二）朝鮮と歐羅巴との關係
（十三）朝鮮と歐羅巴との關係
（十四）支那と朝鮮との關係
（十五）支那と朝鮮との關係
（十六）支那と朝鮮との關係
（十七）支那と朝鮮との關係
（十八）支那と朝鮮との關係
（十九）支那と朝鮮との關係
（二十）支那と朝鮮との關係
（二十一）支那と朝鮮との關係
（二十二）支那と朝鮮との關係
（二十三）支那と朝鮮との關係
（二十四）支那と朝鮮との關係

全卷執筆

日本文化



行旅死亡人公告



行旅死亡人公告
本籍住所氏名不詳男子年齢推定四十五六年位身長五尺二寸位顏面長圓形鼻高口大眉毛濃髮毛黑色中分刈上ゲ前額部ニ古キ疵痕アリ着衣ハ黑地ニ白ノ細カキ絣ノ袷ニ同ジ柄ノ袷羽織ヲ着用シ白ノ兵兒帶ヲ締メ白ノ木綿ノ腹卷ヲ用ヒ白ノ木綿ノ足袋ヲ穿チ下駄ヲ履キ所持品ハ不明ノ者本年四月十五日午前十時頃京都市下京區七條停車場構內ニ於テ死亡シタルヲ發見シタルニ付キ取調ノ上同日同所ニ於テ火葬ニ附シタリ依テ此段公告ス
昭和五年四月廿五日
京都市役所

行旅死亡人公告
本籍住所氏名不詳男子年齢推定四十五六年位身長五尺二寸位顏面長圓形鼻高口大眉毛濃髮毛黑色中分刈上ゲ前額部ニ古キ疵痕アリ着衣ハ黑地ニ白ノ細カキ絣ノ袷ニ同ジ柄ノ袷羽織ヲ着用シ白ノ兵兒帶ヲ締メ白ノ木綿ノ腹卷ヲ用ヒ白ノ木綿ノ足袋ヲ穿チ下駄ヲ履キ所持品ハ不明ノ者本年四月十五日午前十時頃京都市下京區七條停車場構內ニ於テ死亡シタルヲ發見シタルニ付キ取調ノ上同日同所ニ於テ火葬ニ附シタリ依テ此段公告ス
昭和五年四月廿五日
京都市役所

行旅死亡人公告
本籍住所氏名不詳男子年齢推定四十五六年位身長五尺二寸位顏面長圓形鼻高口大眉毛濃髮毛黑色中分刈上ゲ前額部ニ古キ疵痕アリ着衣ハ黑地ニ白ノ細カキ絣ノ袷ニ同ジ柄ノ袷羽織ヲ着用シ白ノ兵兒帶ヲ締メ白ノ木綿ノ腹卷ヲ用ヒ白ノ木綿ノ足袋ヲ穿チ下駄ヲ履キ所持品ハ不明ノ者本年四月十五日午前十時頃京都市下京區七條停車場構內ニ於テ死亡シタルヲ發見シタルニ付キ取調ノ上同日同所ニ於テ火葬ニ附シタリ依テ此段公告ス
昭和五年四月廿五日
京都市役所

行旅死亡人公告

行旅死亡人公告
本籍住所氏名不詳男子年齢推定四十五六年位身長五尺二寸位顏面長圓形鼻高口大眉毛濃髮毛黑色中分刈上ゲ前額部ニ古キ疵痕アリ着衣ハ黑地ニ白ノ細カキ絣ノ袷ニ同ジ柄ノ袷羽織ヲ着用シ白ノ兵兒帶ヲ締メ白ノ木綿ノ腹卷ヲ用ヒ白ノ木綿ノ足袋ヲ穿チ下駄ヲ履キ所持品ハ不明ノ者本年四月十五日午前十時頃京都市下京區七條停車場構內ニ於テ死亡シタルヲ發見シタルニ付キ取調ノ上同日同所ニ於テ火葬ニ附シタリ依テ此段公告ス
昭和五年四月廿五日
京都市役所

土林街役場

昭和十二年四月十五日　臺灣日日新報　第一万三千三百十號　（第三種郵便物認可）

「滅私奉公」は官場へも必要
府政調査會へ 期望の基本點

（二）

一

【東京十四日發】政府は總選擧後五月中旬頃より地方長官會議を召集することに方針を決定した、即ち今回は第七十臨時議會を通過した法律

總選擧終了後再び 地方長官會議を召集
政府、八大政策を闡明

【東京十四日發】政府は總選擧後の公布實施についての政府の方策を示すとともに併せて政府の八大政策を闡明せんとするものであるが總選擧後の政局につき總督の

に基く大綱を中心として各般の施策に關する訓示をなすと共に地方長官會議の召集を決定したことは前號報道の如くであるが、政府は右會議を通じ擧國一致の體制を整へ、以て時局の重大性に鑑み、擧國一致の體制を整へ、以て時局の重大性に鑑み、擧國一致の體制を整へ、以て時局の重大性に鑑み、

今期産糖は—結局一千六百廿萬擔か・・・

第二回より七十八萬擔の増

三月末迄の歩留平均一割二分強

臺灣製糖會社第二回定期總會は、新式製糖九社の去期營業（二月中の實績は原料處理高二十八萬八千五百七十噸、製糖高三百九十万二千五百袋、歩留一割三分五厘二毛にして前年同月の歩留一割二分九厘二毛に比し六厘方の増加を示してゐる、本期は氣候も順調なりたりと云ふ點が餘程違つてゐる、三月末迄の實績を基礎として甘蔗が充分に成熟した關係上三月に殘滓歩留を示現したも、も一段の好成績を擧げ得るものと豫想されるので、昨年十二月以後の製糖は總て好成績を擧げるを得た、昨年十二月以後の製糖は總て好成績を擧げるを得た、昨年十九十六萬六千五百十五万三千八百六十斤、總製高二千二百八十二万六百二十二噸、平均歩留一割三分〇五厘にして昨年同期の平均歩留一割二分六厘に比し四厘五毛の向上を示してゐる、三月末迄の實績高と總製高を

各社別に

示せば

會社名	三月末迄の實績高	同製糖高	同歩留
台湾	三六、〇、〇	千斤	三、五五、〇
明治	二、八二、〇	三、四五、〇	担
鹽水港	二、四〇、〇	三、四五、〇	三、五五、〇
大日本	二、五七、〇	三、五五、〇	三、五五、〇
帝國	二、五二、〇	三、五五、〇	三、五五、〇
昭和	二、四〇、〇	三、四五、〇	三、五五、〇
新興	二、五〇、〇	三、四五、〇	三、五五、〇
台東	二、五〇、〇	三、四五、〇	三、五五、〇
總成	二、五〇、〇	三、四五、〇	三、五五、〇
計	二六、二、〇	三、四五、〇	三、五五、〇

次に二月末迄の

平均歩留

を前年同期の實績と對照すれば

	昨年同期平均歩留	本年同期平均歩留
台湾	三、六	三、五
明治	三、一	三、一
鹽水港	二、九	二、八
大日本	三、一	三、一
帝國	三、一	三、一
昭和	三、一	三、一
新興	三、一	三、一
台東	三、〇	三、〇
總成	三、〇	三、〇
計	三、〇	三、〇

三月末迄の實績では前期に比し多少とも歩留向上せざるはなく一割三分台が六社となつてゐる、四月一日現在製存原料は十九億七千七万三千二十斤、四月以後の總製豫定高三百四十九万四千十七噸、之に三月迄の總製高一千六百十万八千九百九十五噸を合せ今期の總製高一千六百十万四千六百三十九噸となる計算で之を第二回總想の一千五百四十二万八千九百二十八噸に比すれば六十七万五千七百十一噸の増産である、各社別に示すと

最近豫想

	第二回豫想	最近豫想
台湾	三、五〇、〇	三、五〇、〇
明治	二、五〇、〇	二、五〇、〇
鹽水港	二、四〇、〇	二、四〇、〇
大日本	三、五五、〇	三、五五、〇
帝國	三、五五、〇	三、五五、〇
昭和	三、五五、〇	三、五五、〇
新興	三、五五、〇	三、五五、〇
台東	三、五五、〇	三、五五、〇
總成	三、五五、〇	三、五五、〇
計	二六、二、〇	二六、二、〇

無水酒精に關する政府方針の全貌

各社は早くも對策に奔走

殖産局　土井技師歸來談

殖産局特産課の土井技師は酒精その他に關する用向を以つて上京中のところ十三日歸台したが内地の酒精製造は本月一日から實施されたので、從來製糖會社が內地へ出してゐた酒精はすべて大藏省で

直接買上げ

ることになつた、製糖の總量は全部の酒精に亘り、從つて從來用の蒸餾酒精も之に含まれてゐる、台灣では現在この分は製糖の總數外に置かれてゐるが、內地では今回新に製糖總數の中に之をも包含した訳であらう、このことは大藏當でも何でもない、無水酒精が製糖となつてゐる以上は同じ製糖用蒸餾酒精と同樣に台灣製糖會社の中に一口加入として買ひたいと申出てゐることだ、領內地の無水酒精は三井、三菱其他移入商側に入つた

大阪會議の結果

硫安界は漸く安堵

市價對策不必要となる

十三日の大阪に於ける硫安會議の總米は各會議員共四、五、六、七月物は荷が殺到するより新買氣出しの事情も出來、從つて從來の關係及び新公定相場二百四十錢に對する對策の必要なく、從つて對策關係者は何れも安堵の胸を撫し、中止言明を爲すに至つた

大阪會議の結果

硫安界は漸く安堵

市價對策不必要となる

十三日の大阪に於ける硫安會議の總米は各會議員共四、五、六、七月物は荷が殺到するより新買氣出しの事情も出來、從つて從來の關係及び新公定相場二百四十錢に對する對策の必要なく、從つて對策關係者は何れも安堵の胸を撫し、中止言明を爲すに至つた

麻袋共販問題

手打成る

當局の斡旋で握手

雙方和やかに南部へ

台糖製麻の麻袋共販加入問題は當初より製方の主張強硬で容易に纏まるとは思へなかつたが、殖產局では昨日午前十時より日新町組合事務所に關係者を招集して懇談を開始するや案外あつ氣なく手打成り何等の蟠りも殘さず解決を見るに至つた、即ち殖產局では非田園二郎長が主となり何等の關係の申立やうなきものと確信せる局案を作成し共販側と台糖製麻側とに之を提示し大體の內諒を得て十四日午後四時頃非田園長立會の上關係者を會見せしめたところ、何れも無條件で殖產局案に從ふ旨を表明した、從つて台糖製麻は即時共販に加盟することとなつた、尙加盟會社の代表者選は台糖の加入により和やかに運ぶ筈なり、中止言明關係の緊急により南部製麻會社の後よりとした模様である